

(様式例)

令和4年度 【 社会 】 科 授業改善推進プラン

大田区立安方中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ 2学年は、昨年度は基礎・活用、観点別においてすべて目標値を下回っていたが、「基礎」「思考・判断・表現」の項目が目標値を超えた。
- ・ 3学年は、既習事項すべての内容において目標値を大幅に上回った。

(2) 課題

- ・ 1学年は、基礎・活用ともに目標値を下回っている。観点別でみると、思考・判断・表現は目標値を上回っているが、知識・技能の正答率が低く、基礎的な学習事項の定着、資料の読み取りから学力向上を図る必要がある。
- ・ 2学年は、観点別でみると、思考・判断・表現は目標値を上回っているが、知識・技能の正答率が低く、基礎的な学習事項の定着、資料の読み取りから学力向上を図る必要がある。
- ・ 3学年は、基礎・活用で比較すると、基礎は4ポイント、活用は7.7ポイント上回っているが、基礎の定着が弱い。既習事項の復習をはじめ、基礎の定着から学力向上を図る必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(経年比較)

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第1学年	教科全体 ▽ 基 礎 ▽ 活 用 ▽		
第2学年	教科全体 = 基 礎 △ 活 用 ▽	教科全体 ▽ 基 礎 ▽ 活 用 ▽ (第1学年時)	
第3学年	教科全体 △ 基 礎 △ 活 用 △	教科全体 △ 基 礎 △ 活 用 △ (第2学年時)	教科全体 ▽ 基 礎 △ 活 用 ▽ (第1学年時)

※すべて目標値との比較。△は目標値を上回っている。＝は同等▽は下回っている。

(2) 分析(観点別)

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値・全国および区平均をそれぞれ下回っている。	目標値、区平均をそれぞれ上回っているが、全国平均を下回っている。	区平均と同等の数値だが、目標値・全国および区平均をそれぞれ下回っている。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
区平均は上回っているが、目標値・全国をそれぞれ下回っている。	目標値と区平均をそれぞれ上回っているが、全国はそれぞれ下回っている。	区平均は上回っているが、目標値と全国平均はそれぞれ下回っている。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値・全国および区平均をそれぞれ上回っている。	目標値・全国および区平均をそれぞれ大幅に上回っている。	目標値・全国および区平均をそれぞれ大幅に上回っている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ICT 機器を活用し視覚的な教材を多く用いた授業で、生徒の知識・理解を伸長する。タブレットを用いた反復学習やワークや小テストなどの学習到達度の振り返り機会を設ける。	歴史的・地理的事象の因果関係や理由などについて、文章等でまとめ、発表する活動を通して生徒の思考力の伸長を図る。	単元ごとの振り返りやまとめの作業（タブレット学習）を通して、学習法の確認や既習事項の再確認をする機会を設ける。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ICT 機器を活用し視覚的な教材を多く用いた授業で、生徒の知識・理解を伸長する。タブレットを用いた反復学習やワークや小テストなどの学習到達度の振り返り機会を設ける。	歴史的・地理的事象の因果関係や理由などについて、文章等でまとめ、発表する活動を通して生徒の思考力の伸長を図る。	単元ごとの振り返りやまとめの作業（タブレット学習）を通して、学習法の確認や既習事項の再確認をする機会を設ける。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ICT 機器を活用し視覚的な教材を多く用いた授業で、生徒の知識・理解を伸長する。タブレットを用いた反復学習やワークや小テストなどの学習到達度の振り返り機会を設ける。	歴史的・地理的事象の因果関係や理由、公民的分野における自らの考えなどについて、文章等でまとめる活動を通して生徒の思考力の伸長を図る。	単元ごとの振り返りやまとめの作業（タブレット学習）を通して、学習法の確認や既習事項の再確認をする機会を設ける。